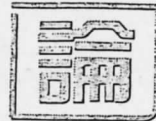


園芸療法と聞いて「何だろ」と思う人がほとんどだろう。「お花のお医者さん？」と聞かれたこともある。

私たちは、花や木々など多くの「いのち」と共に暮らし、刺激や安らぎ、生きるエネルギーをもたらして生きている。日々の営みの一つである園芸は、さまざまな行為を通して植物の成長を期待し、その成長に感動するなど、脳と身体を刺激する創造的な活動である。こうした園芸の特長を生かし、健康や生活の改善に



兵庫県園芸療法導入促進
コーディネーター

立川 理絵

役立てられないか、と生まれたのが園芸療法だ。最初に取り入れられたのは、第二次世界大戦後のアメリカ。戦いにより心身共に疲弊困はした帰還兵のリハビリに用いられ、日本には一九九〇年代に導入された。

以後、各地での実践活動も広がりを見せ、日本流の園芸療法が定着しつつある。今ではリハビリや健康づくり、職業訓練を必要とする人たちに對して幅広い効果を持つ有効な療法のひとつとされている。

兵庫県は、阪神・淡路に認定する。同療法のス大震災の後、花や緑が人々の心を癒やした経験を踏まえ、公立機関として

園芸療法の素晴らしさ



たつかわ・りえ
鹿兒島県出身。2004
大学卒業後、兵庫県立
大学9月、兵庫県立
淡路景観園芸学校に
・園芸療法課程に
入学。修了後、社勤
会福祉法人での勤
務を経て、07年兵
庫市より現職。兵庫
県園芸療法士。神戸
市在住。

さらに県は二〇〇六 高齢者施設を中心に十八 平成十八年四月には、施設を園芸療法士が訪 用者の心身の健康状態や 同療法の普及を目指し、 人生経験などを考慮した 修了生の協力を得て、全 などの参加者とともに同

の、延べ二百七十回に 活性化。施設関係者を尊重する現場だからこ 何よりも(入所者が)植 物や土に触れることで喜 ぶ、事業の円滑な推進 入所者に普段見られな った笑顔が見られ、会話 する。また、またこん 園芸療法の役割は今後ま ます大きくなると確信 している。広く一般にも この療法への理解を求め たい。

入を希望する県内の医療 福祉施設との橋渡しを した笑顔が見られ、会話 する。また、またこん 園芸療法の役割は今後ま ます大きくなると確信 している。広く一般にも この療法への理解を求め たい。

種をまき、花を植え、 植物の成長を見守る中 で、季節感を感じ、こころを 活発にしている。医療 福祉という「いのち」

